

第28、29回防災アカデミーを開催

第28回防災アカデミーが、4月18日(水)、環境総合館レクチャーホールにおいて、災害対策室主催のもと開催されました。今回は、長年NHKで災害報道に取り組んできた小嶋富男前NHK報道局気象災害センター長が、「災害時緊急報道で活躍する放送システム」と題し、災害シーンにおける“一瞬”を伝えるために開発された特殊なビデオカメラや、災害時の緊急報道の実態について、NHKの社内教育用教材等を使ってわかりやすく講演しました。

5月29日(火)には、第29回防災アカデミーが開催され、

山岡耕春環境学研究科教授による「どこまでできる地震予知」と題する講演が行われました。地震の発生が切迫していると言われるここ東海地方では、地震予知には大きな期待が寄せられています。しかし実際の地震予知研究が、現在どのくらいのレベルにあり、どのような研究成果が出ているのかを一線の研究者から聞く機会はありません。山岡教授は、自身も執筆・編集に参加した『地震予知の科学』（日本地震学会地震予知検討委員会編、東京大学出版会刊）に基づいて、地震予知のための基礎科学が今、

どのレベルにあるのかを説明しました。講演に引き続き行われた質疑応答は活気を帯び、「アスペリティ」や「摩擦構成則」などの専門的な内容についての理解を深めることができた、という参加者の声も聞かれました。



第28回防災アカデミーの様子



講演する山岡教授